

2022年3月18日

報道関係各位

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

東京都港区港南 1-2-70

検査室での活用幅を広げ、業務効率も改善 生化学・免疫自動分析装置「コバス® pure」発売

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社（本社：東京都港区/代表取締役社長 兼 CEO：小笠原 信）は、コバス®シリーズの機能を現行品の約 1/2 の設置面積に集約した、生化学・免疫統合型自動分析装置「コバス® pure」を 2022 年 3 月 18 日に発売します。

「コバス® pure」は、生化学モジュールと免疫モジュールを組み合わせて使用できる統合型自動分析装置です。設置面積は現行機種と比べ約 1/2 とコンパクトになりました。生化学モジュール「c 303」は 1 時間最大 450 テストで最大 42 項目、免疫モジュール「e 402」は 1 時間最大 120 テストで最大 28 項目の同時測定が可能です。受託臨床検査会社や大学病院で採用実績のあるコバス®シリーズに加わる新たな製品です。既に発売している「コバス® pro」で採用されている幅広い検査メニューを利用できます。

設置スペースに制限がある場所での使用はもちろんのこと、中央検査室、緊急検査室、時間外検査室での使用や、バックアップ機としての使用など、さまざまな活用が期待できます。「コバス® pro」と「コバス® pure」は、同じ使用感で業務を行えるため、トレーニングの負担軽減、柔軟なスタッフ配置など、検査室の枠を超えた業務の標準化や効率の改善が期待できます。

基本性能として、ヒューマンエラーを防ぐワンパックシステム試薬を採用、システムとしては、試薬架設予測機能で試薬準備の手間を軽減、また生化学ではオートキャル（検量線の自動補正機能）やオートメンテナンス機能も備えており、検査に携わる方々の負担軽減にも貢献します。

【製品概要】

製品名：コバス® pure

主な特長：

- 生化学・免疫検査の機能を現行品の約 1/2 の設置面積に集約。生化学モジュール「c 303」は、比色分析・電解質分析それぞれ 1 時間最大 450 テストで最大 42 項目、免疫モジュール「e 402」は 1 時間最大 120 テストで最大 28 項目の同時測定が可能
- ヒューマンエラーを防ぐワンパックシステム試薬を採用、システムとしては、試薬架設予測機能やオートキャル、オートメンテナンス機能を装備し、業務負担を軽減
- コバスファミリーコンセプトにより、現行機種「コバス® pro」と同じ操作性を実現

仕様（c 303 と e 402 の統合型の場合）：

- 寸法： 2,585（W）×1,022（D）×1,750（H）
- 重量： 約 1,000kg

【製品写真】



コバス® pure <303|402>

会社概要

創立 125 周年を迎えたロシグループは、ヘルスケア業界で革新を起し続ける、世界有数のバイオテックカンパニーです。医薬品と診断薬を併せ持ち、健康・予防・診断・治療・予後のすべてのステージにおいて、医療従事者の皆さまと患者さんが最適な治療選択や意思決定をできるよう支援しています。

ロシ・ダイアグノスティックス株式会社はロシ診断薬事業部門の日本法人です。日本における診断薬事業は 50 年の経験と実績があり、2022 年 1 月現在で従業員 702 人、全国 8 都市にオフィスを有し、体外診断用医薬品・医療機器事業、研究用試薬・機器事業などを幅広い領域で展開しています。診断の革新によりヘルスケアの未来を形づくり、人々がより健やかに、自分らしい人生を送れるようサポートすることを目指しています。

詳細は、<http://www. Roche-diagnostics.jp> をご覧ください。

本件のお問い合わせ先

広報部門

email: tokyo.pr@roche.com